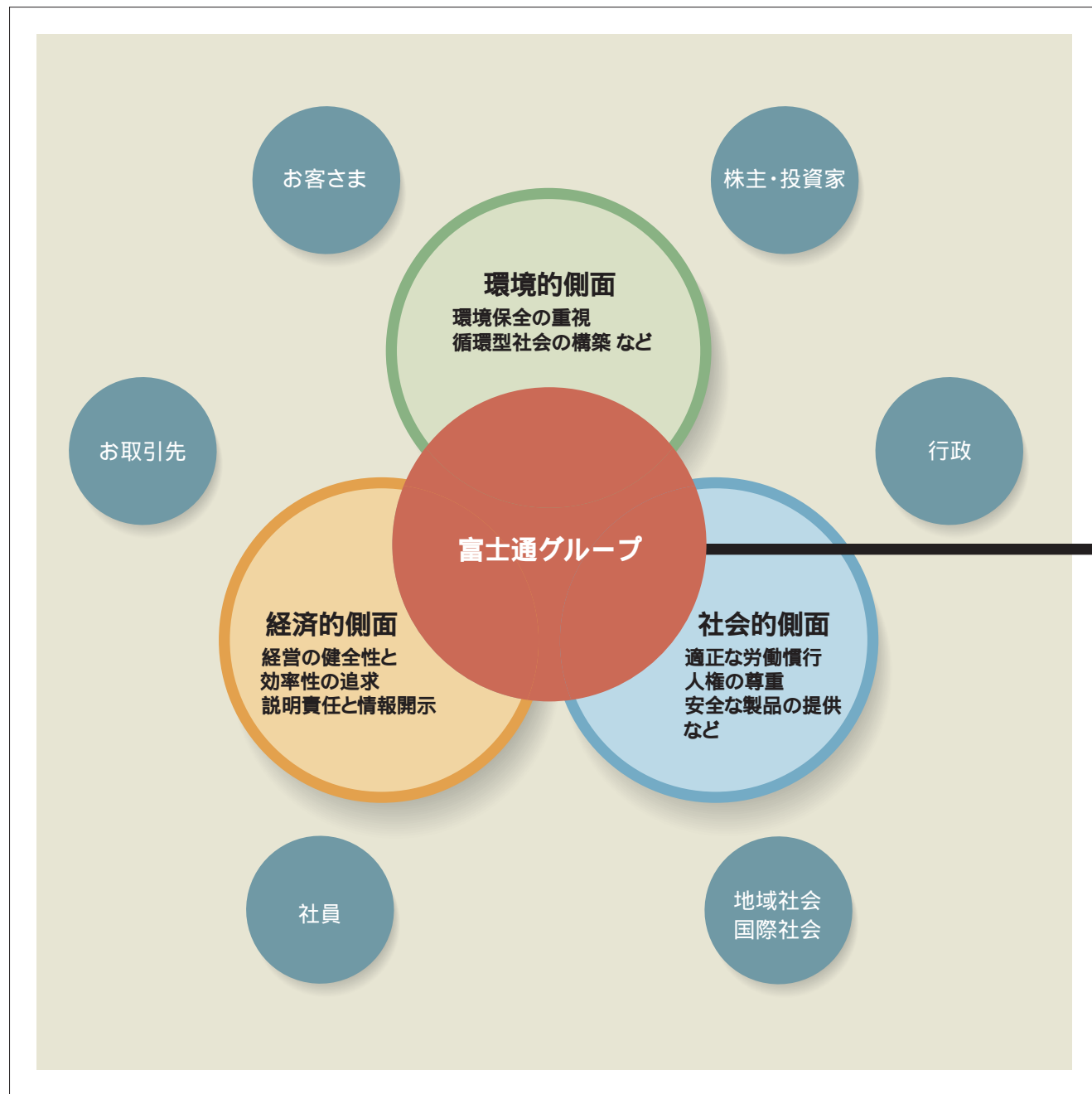


The FUJITSU Wayをベースに ステークホルダーの皆さまへの社会的責任を果たしていきます。



事業ビジョン

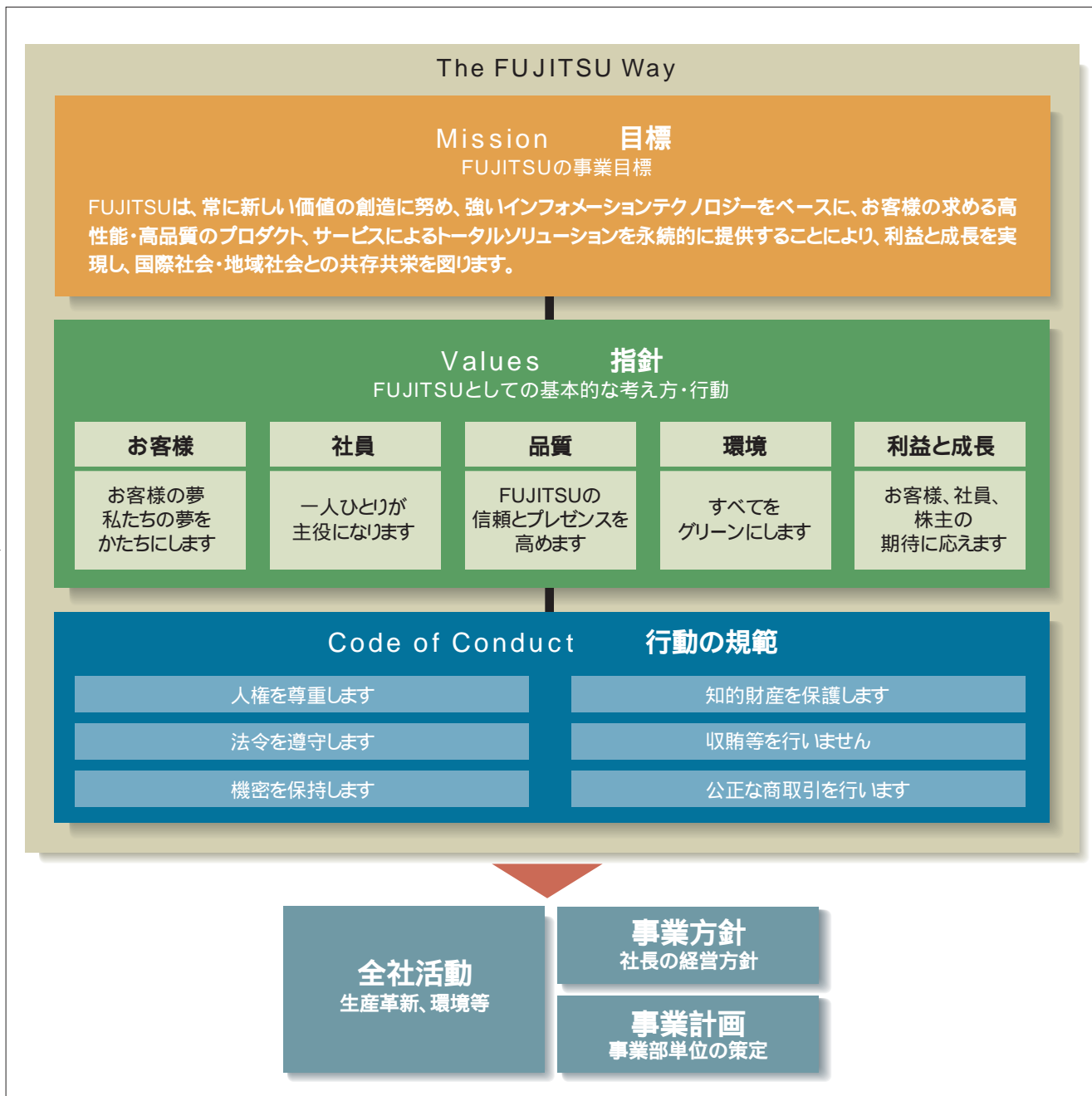
富士通グループは、その存在意義を「先進技術が支える品質の高い製品とサービスにより、お客さまの課題を解決し、社会の発展に貢献すること」と考えています。この考えに基づき、富士通グループは、「お客様」「社員」「品質」とともに、「環境」を経営における重要事項と位置づけ、それぞれに求められる価値観を明示しています。そして、そのすべてを同時に追求していくことで、お客さま、社員、株主・投資家、お取引先・事業パートナー、地域社会・国際社会、公共機関、行政などステークホルダーの利益に貢献でき、その結果として富士通グループ

の成長も可能になると考えています。

富士通グループは、より高い価値の提供を追求しながら多様なステークホルダーの皆さまに対する社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

The FUJITSU Wayとは

富士通グループは、「富士通企業行動指針」をもとに、富士通グループが真のグローバル企業として発展し続けていくために、企業として、社員として、いかに行動すべきかという原理・原則を示すものとして、また、社員一人ひとりの業務遂行に際して



基準となる共通の価値観を示すものとして、2002年にThe FUJITSU Wayを制定しました。

その背景にあるのは、富士通グループが果たすべき「サステナビリティ(社会の持続可能性)への責任」です。企業がサステナビリティへの責任を果たすには、適正な労働慣行や人権を尊重するといった「社会的側面」と、経営の健全性と効率性を追求し、説明責任に基づく情報開示を進めていく「経済的側面」、地球温暖化防止や循環型社会づくりへの貢献など地球環境保全活動を推進する「環境的側面」を高いレベルで統合していかなければなりません。富士通グループは、この3側面

トリプルボトムラインへの責任を果たしていくことで、ステークホルダーの皆さまから期待され、信頼され続ける企業でありたいと考えています。

富士通グループは、このThe FUJITSU Wayを、社会的責任を重視した企業経営のドライビングフォースと位置づけ、あらゆる事業方針や事業計画の立案、全社の活動をThe FUJITSU Wayに則って推進しています。